

桜川

第26号

市議会だより

平成24年2月1日



～四季の風景シリーズ No.13～

大池の白鳥 (桜川市大国玉地区)



議会日誌

- 11月 2日 静岡県藤枝市行政視察来庁
- 4日 中核病院を考える会特別委員会
- 7日～9日 建設経済常任委員会行政視察
- 10日 議会運営委員会
- 10日 議会全員協議会
- 10日 平成23年第3回臨時会
- 30日 議会運営委員会
- 30日 議会全員協議会
- 30日 平成23年第4回臨時会
- 12月 5日 文教厚生常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 7日 議会全員協議会
- 13日～16日 平成23年第4回定例会
- 14日 議会広報特別委員会
- 15日 総務常任委員会
- 15日 建設経済常任委員会
- 22日 議会広報特別委員会
- 26日 議会広報特別委員会
- 1月 16日 文教厚生常任委員会
- 17日 議会広報特別委員会
- 19日 議会運営委員会
- 19日 議会全員協議会
- 19日 平成24年第1回臨時会
- 23日 議会広報特別委員会

私のメッセージ



長岡 鷹雄さん (長岡区長)
桜川市真壁町長岡713

平成23年を顧みて

新年明けましておめでとうございます。今年は何年かという感じがします。去年は、言葉に言い表せない衝撃的なことが起こりました。天災とはこのようなものでしょうか。だれもが予想できなかった三月の東日本大震災。被害の大きさ、破壊力、今まで見たことのない事態にだれもが恐怖に駆られ、覚悟したのは私だけではないと思います。特に安全神話として守られてきた原子力発電。水素爆発を起し放射能の飛散、汚染による住民の避難命令、地域の破壊、生活の破綻、非常時に対する政府の対応、ニュース・テレビ等で見る限り歯がゆい気持ちで

憤りを感じずにはいられませんでした。人の生命の安全が第一と思いますが、緊急時にすぐ行動すべきではないでしょうか。この震災の中で、予想もなかった天災と人災が同時に起こりました。長岡地区住宅は二八四戸のうち一〇〇戸は半壊、一部損壊も含め被害がありました。電気、電話も通じない真っ暗な闇夜の中で地区役員、班長のもと被害状況の把握、危険箇所の確認、一人暮らし老人の安否確認と自分の身を顧みず動いてくれた民生委員、ご協力に対し感謝の胸がいっぱいです。この地域の多くの仲間とすばらしい人と活動できたことを

誇りに思っております。一方、この騒乱に乗じて当地区の山林に大量の産業廃棄物が不法投棄されました。現地は長岡地区水資源、河川の真上にあり、地下水への汚染が不安を残すものと思われまます。直ちに地区全体集会を開き、不法投棄物の放射能、土壌分析を地域みずから費用を出して検査を行った結果、いずれも標準以下でしたが、土壌分析に対してはカドミウム、六価クロム、ヒ素、水銀、フッ素、鉛、他多数の有害物質が含まれていました。長年放置されると飲料水への影響は避けられず、住民への健康被害も発生する可能性があります。将来に不安を



不法投棄された大量の残土

残すものと思われまます。地域住民一丸となって産業廃棄物の全面撤去に向けて取り組んでいます。地域の安心・安全を守るため、行政を主として皆様方のご支援を賜りますよう、地域の運動にご協力をお願いいたします。

編集後記

新春を迎え、ご健勝のことと存じます。昨年は、災害、とりわけ放射能問題で内外を問わず大打撃を受けた年でありました。

市議会の中でも「新中核病院建設」の予算が審議され、臨時号でお知らせしたとおりです。

これからも「地域医療サービス」の充実は最重要課題と考えております。

皆様と情報を共有し重要課題が山積する中、解決してまいりたいと思います。

限られた少ない予算ですが、広報活動を正確に皆様に、お届けいたしますのでよろしく願います。



川那子秀雄

議会広報特別委員会

- 議長 相田 一良
- 委員長 川那子秀雄 副委員長 菊池 伸浩
- 委員 飯島 重男 委員 仁平 実
- 委員 鈴木 裕一 委員 萩原 剛志

『私のメッセージ』の投稿をお待ちしています

応募方法：封書・FAXまたはメールで600字以内 (氏名・住所・電話番号を記入)
 応募のあて先・お問い合わせは市議会事務局まで
 TEL 0296-75-3111 FAX 0296-75-6633
 〒309-1292 桜川市岩瀬64番地2 E-mail gikai_s@city.sakuragawa.lg.jp